



## 2020年度 各専門委員会の取り組み

2020年度運動方針補強を具現化・実現するため、各専門委員会の取り組みをご紹介します。  
 各専門委員会を通じ、構成組織の皆様に様々なご提案をしますが、積極的なご協力とご理解をお願いします。

### 産業政策委員会 (委員長：宍戸 良太／委員：佐藤 正治・山野内 孝満)

2020年度の活動は運動方針補強に基づき進めていきますが、前年度の新型コロナウイルス感染症による様々な影響が、今後もその働き方や暮らし方、そして様々な価値観が大きく変わっていくことが予測され、印刷労連としても、従前の活動から新たな活動のあり方を検討していかなければなりません。よって、産業政策委員会としても、今年度の取り組みと並行して、将来を見据えた活動のあり方についても検討を進めていきます。

具体的には、年内に「小林・浜野両推薦議員への政策・制度に関する要請」および「日印産連への政策・制度に関する要請」を実施します。続いて、「連合本部への要請(連合総対話パート2)」を3月末までに実施します。なお、現行の「印刷労連・産業政策」がこれまでの考え方のままで良いのか、今年度委員会で議論するメインテーマとなります。

引き続き各地方協議会ならびに構成組織のご協力とご支援をお願いいたします。



### 労働条件委員会 (委員長：大冢 新二／委員：高橋 康・中村 信也・村田 茂陽)

2019年度より編成された労働条件委員会も1年が経過し、2020年度が開始しております。今年度は印刷労連として掲げた運動方針補強に基づき、前年度に展開した活動も振り返りながら取り組んでおります。

今年度の取り組み要点は、変化する働き方を印刷関連産業へいかに反映させていくか。また、変化する働き方に応じた賃金や一時金の取り組みをどのように進めていくかになります。それらを鑑み、当委員会では印刷労連が掲げる運動方針補強を執行するべく、1.「印刷労連・賃金政策」に基づく産業間、企業間格差の是正 2. 年間総労働時間の短縮 3. 「働き方改革」に向けた職場環境の整備と「多様な働き方」の構築を中心に、各委員会とも連携しながら取り組んでいきます。

印刷関連産業の職場環境と賃金や一時金の実態、将来に対する働き方の変革の取り組みなど、全体が丸となり、ともにがんばりましょう。



### 組織委員会 (委員長：吉岡 貞治／委員：川尻 聡・嵯峨 友成・石山 浩司)

2020年度組織委員会の取り組みについては、運動方針に則り「組織の充実・強化・拡大」を柱に、本部・地方協議会・構成組織間の連携をもとに、魅力と求心力のある印刷労連を目指し活動を展開していきます。また、従来までは、上部団体の取り組みに準じながら、組織拡大を中心とした考え方が主導的でありましたが、本来の果たすべき役割、特に「充実・強化」といった部分の足元をしっかりと見据えた活動を推進し、印刷労連としての相乗効果とメリットが発揮できる組織を目指していきます。

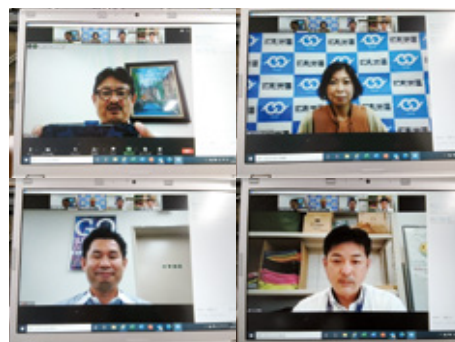


## 教育・広報委員会 (委員長：勝又 紀智／委員：藤原 隆之・大上 隆史・古賀 初代)

教育・広報委員会は、2020年度活動方針の補強として、「機関紙の定期発行とホームページの更新およびリニューアルの検討」を付け加えました。昨年度の反省点を踏まえ、情報の提供を更に強化して取り組んでおります。

我々教育・広報委員会は、これからのwithコロナ期に「何をどうやって情報を提供していけるのか」が最大のミッションとなります。情報提供については、NETWORKやホームページを媒体として情報の共有化に努め、NETWORKの定期的発行とホームページのリニューアルを検討し、閲覧した組合員へ有益な情報を提供できるよう進めて参ります。

今年度は課題である検討・企画決定・提供を実行フェーズに移していきたいと思っております。また、印刷労連本部・各地協の活動が身近に感じられ、活動に対しての理解が深まる活動となるよう取り組んでいきたいと考えております。



## 総務・財政委員会 (委員長：中村 彰男／委員：水落 圭吾・橋内 誠)

コロナ禍により、私たちの意識や生活様式、職場環境は大転換を余儀なくされました。この変化はコロナ禍が収束しても元には戻らないと思っておりますが、あらためて人と人とのコミュニケーションの重要性や、社会インフラを底支えする印刷産業の重要性を再認識しながら、今後の印刷労連のあるべき活動を模索していきたいと思っております。

総務・財政委員会は、時代の変化や法改正に合わせて、2019年度から連合規約をベースにした印刷労連規約全体の見直しを着手してきました。2020年度は、コロナ禍で異例の対応を図ってきた機関運営や財政運営について再検証し、頻発する激甚災害など想定外の状況においても印刷労連活動を停滞させないという観点からも、印刷労連規約の整備を進めていきたいと考えております。



# 地方協議会拡大幹事会報告

全国11地方協議会では、拡大幹事会を開催し、各地方協議会の活動方針を確認しました。

### 北海道地方協議会

これまで北海道地協では、対面を基本に「コミュニケーション第一」をモットーに活動してまいりました。しかしながら、このコロナ禍において大変苦労しているのが実態です。2020年度活動のスタートである拡大幹事会も、各構成組織の安全、健康を第一に考え「書面による持ち回り会議」を余儀なくされました。しかしながら、対面でのコミュニケーションにこだわりを持った活動は、各構成組織の共通認識であり、人数を絞り複数回開催するなど、新たな生活様式に対応した形で活動してまいります。

アルコール消毒実施、マスク着用、ソーシャルディスタンスを保ちながら、第1回拡大幹事会の開催方法について議論、確認をしました。



(写真は2020年8月25日(火)開催 第1回拡大三役会の様子)

### 宮城地方協議会

宮城地協拡大幹事会を10月17日(土)に開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大予防策を講じながら、仙台市内の会場に参加者を絞った形で、地協幹事と青年委員代表が参集し開催しました。

方針・予算・役員交代など、予定した議案の全てが無事確認されました。例年拡大幹事会後に開催していた研修会については、コロナ禍の中、開催を見送ることとしました。今年度の地協活動の方針として、「地協組織の垣根を超えた人財育成」「連合宮城活動への参画」「社会貢献活動への積極的参画」以上3項目としました。特に人財育成については、地協役員や青年委員会の研修会を複数回開催し、土台となる知識や考え方を身に付ける活動を、最重要課題として取り組みます。

拡大幹事会では、提起する議案の理解度を深めることを目的に、PowerPoint資料を投影し議事進行を行い、分かりやすいと好評でした。



## 関東北部地方協議会

魅力ある印刷労連を目指すべく今年度も活動を展開していきます。幹事会での情報共有や学習会、さらには青年委員会、女性参画推進プロジェクト、組織交流会等を通じて連携を強化しながら、快活に活動することで各構成組織との絆をさらに深めていきます。また、地方連合会にも積極的に参加し、印刷労連として他産別の仲間とともに地域に貢献できる活動を展開していきます。



## 関東南部地方協議会

10月17日(土)、総会に代わる第1回拡大幹事会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン併用の開催とし、かつ出席要請も地協幹事と青年委員会三役に限定しました。議事次第として、前年度は多くの計画が中止を余儀なくされた中、振り返りよりは「これから」に重きを置いて進行了しました。議事後半のコロナ禍における構成組織の活動報告も踏まえれば、今年度は会議体のありかた、組織交流会などの各種行事メニュー、更には年間スケジュールの立て方そのものについて、前例に無い柔軟なアイデアが求められる年であると認識しました。2020年度、新常态の「礎」を皆さんと構築すべく、関東南部地協はスタートしました。



## 長野地方協議会

10月17日(土)に拡大幹事会を行い、現在の5単組による2020年度のスタートをしました。今年度もコロナ禍は続く事が予想されますが対面による幹事会を続けるべく、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしっかりと行っていきます。前年度は平日開催により遠方の2単組が出席出来なかった事もあり、今年度は土曜日に幹事会を行っていきたくと思っています。長野地協の全ての幹事又は代表者が必ず出席する(全単組出席)にこだわる幹事会を行うため日程調整を綿密にしています。組織人数は少ない地協が、この長野の地で同じ産業の労働組合として今年度も労働運動に邁進していきます。



## 石川地方協議会

10月24日(土)に第9回総会を開催しました。ここ石川もご多分に漏れず新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、北陸新幹線による経済効果にも急遽ストップがかかったような状況です。誇張なしで近年まれに見る厳しい年末交渉が始まるようしておりますが、横のつながりを強めつつ細かな交渉材料を集めて、しっかりと要求を組み立てていきたいと思っております。私事ながらわたくし深山(ふかやま)が、今般10月の地協総会で議長を仰せつかりました。破格の行動力を誇る藤井前議長の後任ということでひとりプレッシャーを感じておりますが(苦笑)、諸先輩方のご助言と、頼りがいある地協幹事の皆さんの力をお借りし、無理な背伸びはせず、できる範囲のことを着実にやっつけていければと思います。どうぞ、宜しくお願い致します。



## 愛知地方協議会

愛知地協は前年度、中盤以降コロナ禍において活動が出来ず構成組織間のコミュニケーションも希薄気味になりました。しかし、去る9月26日(土)の拡大幹事会では対面にこだわり、参加人数の制限と新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ実施しました。例年通り、印刷労連の運動方針を元に愛知地協の年間活動計画・予算案などを審議し満場一致で可決されました。後半は通常の幹事会を開催し、無事終える事ができました。

世間では新しい生活様式など、社会の生活が一変しており、我々組合活動にも影響を及ぼしています。今年度はそういった中でも悲観的にならず、活動にも新たな取り組みを用い構成組織間の連携強化と、印刷産業を盛り上げるべく「攻め」のスタイルで活動していきます。



## 京滋地方協議会

京滋地協では9月29日(火)京滋地方協議会第7回拡大幹事会を開催し「みんなが参加しなくなる地方協議会活動を目指して」をスローガンとした2020年度活動方針が確認され新しい年度をスタートしました。2020年度はコロナ禍での出発となり、例年通りの活動は未だ難しい状況です。この様な中でもリモートの活用により幹事会への参加率が向上し、コロナ禍だからこそ発案されたいままでないイベントの企画など、良い影響もでてきています。

新型コロナウイルス感染症は組合活動や働き方など様々な事において変わっていくことを我々に突きつけました。これまでの活動方法とこれからの新たな活動方法の良いところをミックスしながら、構成組織の多くの方々に参加してもらえる充実した1年となるよう活動していきます。



## 大阪地方協議会

9月26日(土)第7回拡大幹事会を開催しました。当日は大阪地協幹事、構成組織代表者、青年委員会三役の方々に出席いただき、石山議長より本部方針の5つの柱をもとに、「心地よい地方協議会を目指して」サブテーマとして「face to faceで想いを伝えよう」という大阪地協としての活動方針が提案され、満場一致で確認されました。今回の拡大幹事会では今期「新型コロナウイルス感染症拡大防止対応」について大阪地協としてどのように活動を行っていくかが重要となります。そのためにも毎月の幹事会においても本来の「対面方式」を基本としますが、「リモートでの参加」も併用していきます。そうすることで「全員参加の幹事会実現」についても取り組んでいきます。コロナ禍の中ではありますが、大阪地協として各構成組織の皆さんにご意見・ご提案をいただきまして新たな活動も見出しながら取り組んでいきます。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 福岡地方協議会

2020年9月9日(水)トッパン・フォームズ会議室において、2020年度福岡地方協議会第1回拡大幹事会を開催し、青年幹事にも出席いただきました。コロナ禍の中ということもあり、WEBを併用しての開催としました。拡大幹事会では、中央委員会で確認されたことを報告し、内容を共有いたしました。さらに、2019年度の福岡地協活動経過報告を行い、種田議長から今年度の年間活動計画が提案され、満場一致で確認されました。さまざまな工夫を凝らし、皆で協力しながら活動を行って参ります。



## 熊本地方協議会

9月26日(土)に拡大幹事会を開催しました。熊本地方協議会は、組織間の交流も着実に増え組織基盤も構築されてきております。昨年度は新型コロナウイルス感染症の猛威により当初計画していた活動が満足にできない状況でした。今年度は、組織機能の充実と強化を図る為、年間活動計画に則り活動を実施するために、「自粛から自衛へ」with コロナの新たなステージと考え活動のやり方、規模など考慮しながら、活動を展開して参ります。

ここ数年、熊本においては熊本地震、令和2年7月豪雨など大きな災害に見舞われる中、ボランティア活動など地協全体としても積極的に参加を推進していきます。更には、他産別との意見交換や交流を深め、情報共有に努め、印刷労連としての活動を行い活性化していきます。引き続きご指導の程よろしくお願い申し上げます。



## 連合 2020 中央女性集会 ZOOM ウェビナー開催 ～男女平等で多様性を認め合う社会をつくろう!～

2020年10月23日(金)にWEB会議方式にて開催され、全国より1231名が参加、印刷労連からは各拠点より女性6名が参加しました。

はじめに連合・神津会長より、「連合は、真に多様性のある職場への第一歩として、『男は仕事、女は家庭』といった固定的性別役割分担意識や、様々なアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)の気づきへの取り組みを進めていること、多様な人たちの声に耳を傾け、男女平等で多様性を認め合う社会を実現していこう」と挨拶がありました。続いて、連合の井上総合政策推進局総合局長より、「連合『第4次男女平等参画推進計画』プラスおよびコロナ禍におけるジェンダー平等について」基調提起がありました。次に、東京大学の沢真理名誉教授より「男女平等で多様性が尊重される社会の実現～コロナ禍で顕在化したジェンダー格差～」のテーマにて、講演。最後に、「集会アピール」を満場一致で採択し、閉会しました。



## 働くを支える 暮らしに備える 生活を豊かに

「たすけあいの輪をむすぶ」  
こくみん共済 coop は、次のステージへ  
こくみん共済〈全労済〉  
公式キャラクター  
ピットくん

## ☆印刷労連 ☆こくみん共済 coop ☆労働金庫

教えて ロッキー!  
ろうきんには  
どんなローンがあるの?  
ローンって  
プライベートな  
ことだから、  
相談しにくい  
のよね...

それなら  
近くのろうきんや  
労働組合に  
相談しよう!

親身になって  
一人ひとりに合ったプランを  
提案してくれるよ!

ろうきんのローン  
ライフプランに合ったローンを用意しています!

- カードローン
- 自動車ローン
- 住宅ローン
- 教育ローン

※来店前にご連絡いただくスムーズに案内できます。

非営利のろうきんは、  
ローン金利が低く、  
おトクなんです!

2019年8月14日 借入れを見直して返済計画をろうきんと一緒に考えましょう!  
<https://all.rokin.or.jp/info/> 近くのろうきん

## — 編集後記 —

コロナ禍において、対面で行われていた会議はWEBが併用されるようになりました。WEB会議はいつでもどこでも参加ができることで、効率面での効果はある一方、表情が見えない、空気感が伝わらないスクリーン上では、物足りなさを感じております。世間ではGoToも開始され、大きく社会が動き出す一方で、感染予防対策を講じるといったストレスがかかる毎日ですが、一日でも早く終息し、気兼ねなく仲間と元気な顔を見ながら話ができる日が戻ることを切に願っています。

さて、2020年度の各地協拡大幹事会が各地の状況に合わせて開催され、地協の方針が確認されました。この一年が実のある活動になるよう、このような時期ではありますが、前進あるのみ、全員で力を合わせて頑張っていきたいと思います。【教育・広報委員会 大上 隆史】